

# 平成30年度 予算(案)

2月20日開会の市議会に提案しました「平成30年度予算(案)」の概要をお知らせします

問い合わせ 財政課 ☎38-2011

## 市民と協働し芦屋の未来を創ることを目指した予算編成

一般会計 461億4,000万円 (前年度比: 1億7,000万円減)

### 安全・安心で良好な住宅地としての魅力を高め継承する

- エリアブランディング事業  
(市民活動センターの利活用や旧宮塚町住宅の改修等により新たなまちの魅力を構築する)

旧宮塚町住宅



- 景観形成事業の推進
- さくら参道の無電柱化
- シティプロモーション事業

### 若い世代の子育ての希望をかなえる

- 認可保育所・小規模保育事業所の誘致
- 市立認定こども園の整備(2園)



- 認可外保育所利用者への助成
- 市立小中学校の遠距離通学者への助成
- 小学校への外国語指導助手(ALT)配置
- 中学校の学習用タブレットPCの配置拡充
- 民間活力を導入した放課後児童健全育成事業

### 施設整備

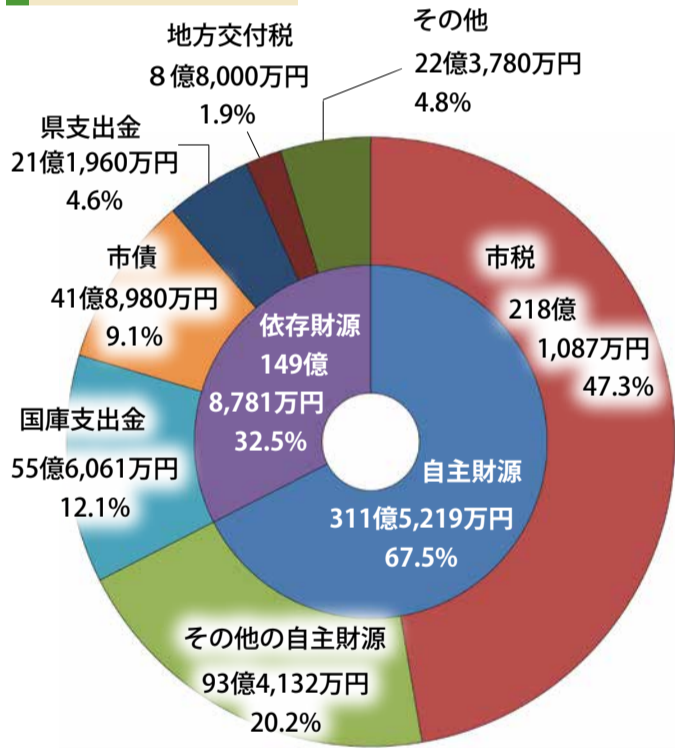
- 図書館本館・茶屋集会所・岩園保育所等の改修工事



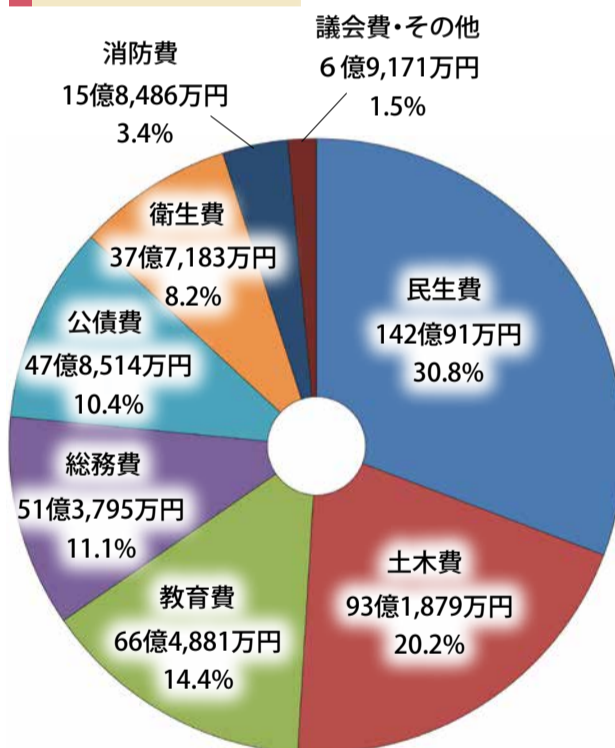
図書館本館

- 高浜町1番住宅等大規模集約事業
- 山手中学校の建て替え
- 分庁舎跡地整備事業
- JR芦屋駅南地区再開発事業

### 歳入(一般会計)



### 歳出(一般会計)



### 平成30年度 予算(案)

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	461億4,000万円	△0.4
特別会計	230億5,250万円	△27.0
国民健康保険事業	94億8,100万円	△20.9
公共用地取得費	12億4,100万円	△75.7
都市再開発事業	9億8,500万円	332.0
駐車場事業	5,350万円	△57.9
介護保険事業	89億7,800万円	△1.1
後期高齢者医療事業	23億1,400万円	10.3
企業会計	144億4,505万円	43.7
病院事業	66億6,233万円	3.2
上水道事業	30億8,443万円	△14.2
下水道事業	46億9,829万円	皆増
財産区会計	3,330万円	217.1
合計	836億7,085万円	△4.9

### 市民1人当たりの予算

平成30年1月1日現在の住民基本台帳人口96,332人で計算すると...

市民1人当たりの公共サービスに必要な金額は **478,969円**

	金額	構成比
総務費	53,336円	11.1%
民生費	147,416円	30.8%
衛生費	39,155円	8.2%
土木費	96,736円	20.2%
消防費	16,452円	3.4%
教育費	69,020円	14.4%
公債費	49,673円	10.4%
その他	7,181円	1.5%
合計	478,969円	100.0%

### 平成39年度までの財政収支見込み

芦屋市 財政収支見込み



平成31年～39年度の歳入・歳出の見込みとして、「長期財政収支見込み」を市ホームページで公表しています。

#### ●収支の状況

今後も社会保障関係経費や公共施設の老朽化への対応等に必要経費は増加が見込まれることから、歳入歳出差引の9年間の合計はマイナス47億円となっています(不足額は基金で補てんします)。

#### 【収支の見込み(一般財源ベース)】

(単位:億円)

年度	31	32	33	34	35	36	37	38	39	合計
歳入	267	275	271	265	264	262	262	263	261	-
歳出	281	274	271	262	271	277	266	269	266	-
歳入歳出差引	△14	1	0	3	△7	△15	△4	△6	△5	△47

#### ●これからの財政運営

歳出では、増加する社会保障関係経費や公共施設の老朽化への対応等に必要経費を抑制することが難しくなっています。

歳入では、地方交付税が減少し、市税の占める割合がよ

り増加する見込みです。人口の減少に歯止めをかけ、本市の財源の柱である市税を引き続き確保するためにも、限られた財源を有効に活用し、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。